

令和6年第7回大山町議会定例会一般質問

令和6年9月17日・18日

通告順	議席 番号	氏 名	質 問 事 項
1	9	大杖 正彦	1. 本町の観光振興について
2	11	杉谷 洋一	1. 本町の特色ある学校づくりは
3	13	吉原 美智恵	1. 認知症の予防と対策は
4	4	島田 一恵	1. 大山町の町民と行政のつながりを深めるために
5	7	門脇 輝明	1. 労働力不足への取り組み加速を 2. 学校・保育所の職員不足の対応は 3. 大山西小学校の環境整備を
6	6	池田 幸恵	1. 移住施策の充実を
7	10	大森 正治	1. 同和対策について問う 2. 熱中症対策や物価高騰対策を 3. 「大阪・関西万博」への修学旅行は中止を
8	1	小谷 英介	1. 大山町の財政はこのままで大丈夫か。
9	12	近藤 大介	1. 学校体育館のエアコン整備について 2. 放課後児童クラブの充実について
10	14	岡田 聰	1. 今こそ地球温暖化対策に傾注を 2. 和牛子牛の生産振興・維持への支援を
11	3	豊 哲也	1. 本町観光業の魅力アップについて 2. 牛馬の聖地「大山」ドリームカーフェスタについて
12	8	大原 広巳	1. 竹口町政2期目の成果と課題について
13	15	野口 俊明	1. 桜並木は守れるか
14	2	西本 憲人	1. 西坪展望公園トイレ整備事業について 2. 電動マウンテンバイクの利用状況は 3. 住民の幸福度について

令和6年8月20日

大山町議会議長 米本 隆記 様

議席番号9番

大山町議会議員

大杖 正彦



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 60 分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
1) 本町の観光振興について 近年観光事業に注力し成長しているある大手不動産会社社長の講演会内容が、6月定例会の議員討論会においてテーマを「大山町の観光振興について」として取り上げるなど観光振興を訴える議会の立場として共感するところがあり一般質問に取り上げた。 内容は、①大型オフィスビルの上層階をホテルとする不動産開発、②既存ホテルのリノベーションとリブランド、③地方での新規ホテル展開、その背景には1990年代から生産者人口の減少と暗黒の経済成長ゼロ時代で国内旅行離れなど観光業の危機感があつた事、逆に世界の経済成長は2030年までの30年間で4.9%増加が見込まれていたからです。社長は観光立国としての戦略は、体験重視の旅行消費が必要不可欠であることを強く主張、その要素である①エンターテインメント、②エデュケーション、③エステ、④エスケイプ(非日常性)をお客様に強いインプレッション(感動)を与える。要するに唯一無二プロジェクトであります。まさにこうした戦略でホテル事業は成功して成長中です。 こうした時代背景において、人口減・少子高齢化、担い手不足による第1次産業の衰退など課題の大きい地方が多い中、大山から日本海まで観光資源の豊富な本町では観光振興で町の活性化を打ち出すことが強く求められる。それには事後の対策ではなく以下に掲げる事前対策がキーとなる、①インフラ整備(施設の充実と上質化=企業との協力で進んでいるモノもあり、条例可決したアウトドアライフ施設運営事業もその一歩と考えます)、②二次交通の不便解消(国・県そして近隣自治体との協力が必要だが町内独自に対応できる=例えば大山自主組織の乗合送迎の取り組みなどを拡大する)、③地元住民の「観光客に対する歓迎意欲=おもてなしの心」の醸成などです。 これらの施策を行うには独自予算が必要となります、そもそも住民のために使うべき税金を観光客に使うのか?という疑問もあるが、観光客の消費は地域の商工関連に使われ、いずれ税収に繋がります、今後も条例などで観光産業の位置付けを明確に定め、利害関係者と協議の上、使途の可視化、透明性を担保して進めるべきと考えます。 以前に、大山町観光振興について一般質問した際も申し上げましたが、大山町の基幹産業は農業を中心とした第一次産業と観光業であると認識した上で質問致します。 質問事項； ① 本町の観光振興の将来はどうあるべきか、現状の課題を踏まえた町長の考えは。 ② 4月臨時会のアウトドアライフ施設運営条例は今回限りか、新たな施策とそれに伴う条例提案は考えているか。 ③ 新たな観光振興に関する施設運営などを地域住民が計画し、町に支援を要望した場合、支援する考えはあるか、それには新たな条例制定が必要となるか。 ④ 今後の観光振興に重要な地域DMO組織体制について、総務経済委員会の行政視察報告でも議会討論会においても相応しい人材リーダーを求める意見が多かったが、本町のDMOの代表責任者含め組織体制の構想は。	町長



(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

令和6年8月23日

大山町議会議長 米本 隆記 様

議席番号 11 番

大山町議会議員

杉谷 洋一



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 60 分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
1. 本町の特色ある学校づくりは 近年、情報社会の進展に伴い、情報手段を適切に活用する能力や態度・判断力の情報モラル教育、他人を尊重しながら町民として社会に参加し、その役割を果たせるようにするシティズンシップ教育、心身の健康増進と豊かな人間形成の食育、また、人間と自然との関わりで持続可能な社会づくりの環境教育、社会生活を営む上での大切なきまりの法教育、さらには、学力低下問題など、多様な教育課題がある。それらに対しどのように対応して、「育てたい資質・能力」を児童生徒に身に付けさせるかが求められている。 また、学校は一人一人の個性に応じて、基礎的・基本的な知識や技能を学び、その意欲をしっかりと身に付けさせると共に、道徳や芸術など情操を豊かにする教育や健やかな体を育む教育を行い、これらによりその能力を最大限に伸ばし、自立心を向上させることが重要である。 これら学校は、一生を通ずる人間形成の基盤であり、社会生活に必要なものを共通に修得させ、豊かな個性と社会性の発達を助長させるところであり、特色ある学校づくりとしての、本町の義務教育に対し教育長に伺います。 ①学校部活動の地域移行の現状は。 ②全国学力調査の結果を受けて本町教育水準の維持向上対策は。 ④いじめ・登校拒否の現状は。 ⑤PTAの現状は。 ⑥タブレット教育効果は。 ⑦道徳教育の現状は。 ⑧学校の熱中症対策は。 ⑨郷土愛育む教育への取り組みは。 ⑩教員の多忙化対策はできているか。	教育長



(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

令和6年8月27日

大山町議会議長 米本隆記様

議席番号 13番 大山町議会議員 吉原 美智恵



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 60分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
1 認知症の予防と対策は 国においては、今年1月に共生社会の実現を掲げた「共存社会の実現を推進するための認知症基本法」が施行されたところである。 2025年には、65才以上の5人に1人が認知症になる可能性があるという推測が新聞等でも取り上げられている。 本町でも、その予防と対策において効果ある施策の推進は待ったなしの状況である。 1. 認知症の正しい知識の普及啓発の現状と課題は 2. 認知症地域支援推進員の活動は 3. 民生委員や民間企業と連携した見守り活動は 4. 認知症行方不明者に対する対策は 5. 地域自主組織との連携は 6. 学校現場での啓発は	町長 教育長



(注)的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

令和6年8月28日

大山町議会議長 米本 隆記 様

議席番号 4 番 大山町議会議員 島田一恵



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 50分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
1、大山町の町民と行政のつながりを深めるために。 本町の皆さんの声を行政に届けることも大切な仕事です。 行政としても町民の皆さんの声を聞き、思いを受け止め町政の現状把握と課題解決に向けて対応されていると思います。 その対応について伺います。 ① 本町では町民からの意見や質問をどのように受けて対応されているか。 ② 町長への手紙の状況は。 ③ 本町のホームページ「みんなの声」の状況は。	町長



(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

令和6年8月28日

大山町議会議長 米本隆記様

議席番号 7番 大山町議会議員 門脇 輝明



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 60分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
1 労働力不足への取り組み加速を 昨今、流通業界2024年問題をはじめとして、各方面で労働力不足による問題が取り上げられているが、リクルートワークス研究所主任研究員の古屋星斗（ふるやしょうと）氏によると、少子高齢化・人口減少により、わずか16年後の2040年には日本全国で約1100万人の労働力（人手）が不足すると予測されている。 これは、すべての職域・職種が対象であり、場合によってはそれぞれが実施してきた業務やサービスの提供が人手不足ということで廃止される可能性も出てくる。 そこで、次の点について伺います。 ① 予測される労働量不足が本町行政にどう影響すると考えられるか ② 対応として実施可能な施策は ③ 対応の加速化が必要と考えるが、見解は	町長・教育長
2 学校・保育所の職員不足の対応は 人口減少や少子化が進む中、教員・保育士のなり手不足が報道されている。子どもたちの未来を拓く教育において、教員等の職員は最大の保育・教育環境であり、優秀な教員等の確保・育成は子供たちの育成を担う町と教育委員会の最大の責務である。 そこで、次の点について伺います。 ① 学校・保育所の職員数は現在のところ充足されているとのことだが、各機関においては、産休・育休・中途退職などによる職員の補充に苦労されていると聞いている。将来の教員不足に対する具体的な施策は考えているか。 ② 教員等が心身の不調のため中途退職されている例があると聞いている。民間企業においては、中途退職者を減らすことが企業力の向上のため有効であるとして、組織・業務の見直しを含む企業内の働き方改革など様々な取り組みが行われている。本町の中途退職者減少の取り組みと成果はどの様になっているのか。	町長・教育長



(注)的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
③ 奨学金返還支援制度の対象は(1)製造業 (2)情報通信業 (3)薬剤師の職域 (4)建設業 (5)建設コンサルタント業 (6)旅館・ホテル業 (7)民間の保育士・幼稚園教諭の職域 (8)農林水産業(法人等又は農林水産業協同組合) (9)理容師・美容師の職域 ⑩歯科技工士の職域となっているが、これに公立学校の教員、保育士を加えることはできないか。 ④ 大山寺は繁栄していた当時、単なる宗教施設にとどまらず、地域の経済、文化の一大拠点であるとともに、関係者に先進的な知識を教える教育研究施設としての機能も有していたとされている。その歴史を踏まえ、教員、保育士を行う大学や専門学校のサテライトキャンパスの誘致を考えないか。	
3 大山西小学校の環境整備を 大山西小学校は周辺地域に新興住宅地が増加するのに伴い、生徒数が増加し、今後10年以上減少する見込みはないと推測されている。また、町独自の教育充実施策である少人数学級の実施により、施設・設備面でも様々な課題を抱えている。 そこで、次の点について伺います。 ① 学級数が多くなり、転用可能な特別教室を普通教室として利用しているが、これ以上の学級増をしようとしても転用できる教室がない。習熟度の応じた少人数での学習等に取り組もうとしても、理科室や家庭科室、音楽室には特殊な設備や机・椅子などがあり、授業に利用しづらい。多様に使える教室を増築できないか。 ② 駐車場が狭く、学校行事を実施するときに保護者等は自家用車を利用して参加することが常態であり、周辺の農業用道路に100m以上にわたって駐車し、通行に危険が生じている。また、普通教室の増築を考えると、現在の駐車場以外に余地はない。他の学校や保育園は近隣の施設の駐車場が利用できることから特に問題となっていない。周辺の農地は宅地への転用が徐々に進んでいるなか、耕作がされていない農地も残っているので、これを学校用地として取得し、の駐車場として整備することはできないか。 ③ 大山西小学校と山陰線の踏切間の歩道整備の進捗状況はどうなっているのか。	町長・教育長

(注)的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

令和 6 年 8 月 28 日

大山町議会議員 米本 隆記 様

議席番号 6 番 大山町議会議員

池田 幸恵



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間

50 分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
1、移住施策の充実を 2024 年 8 月ある土地活用の会社が、鳥取県内の「住みこちがいい街」ランキングを発表した。本町（大山町）は初登場で 3 位にランクインし、北側に日本海、南側に中国最高峰「大山」の頂を含み、町中を 28 もの川が流れる自然豊かな町として紹介されていた。 因子別順位でみると交通利便性で 6 位、親しみやすさ 2 位、静かさ・治安と防災において 1 位であった。行政サービスについては、給食費無料や通学費補助などの子育て支援をはじめ、さまざまな支援策を行っているが、ランク外であった。 8 月末頃、政府が結婚をきっかけに東京 23 区から地方へ移住する女性を対象に支援する制度の新設を検討とのニュースを目にした。 そこで以下のことを問う。 ① 子育て世帯移住につなげるためにも、政府が新設を検討している支援策との合わせ技で、ひとつ前の新婚世帯を呼び込むための支援策を行わないか。 ② 子育て世帯向け賃貸住宅を整備されているが、入居者募集方法や入居条件は。	町長



(注)的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

令和6年8月29日

大山町議会議員 米本隆記 様

議席番号 10 番 大山町議会議員 大森正治



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 60 分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
1. 同和対策について問う 部落差別解消は国民的課題として1969年に始まった同和対策事業は、2002年の終了まで国・地方自治体合わせて15兆円を費やして実施され、同和地区の劣悪な環境は一変した。住宅や道路などの生活環境だけでなく、進学・就職や結婚問題も大きく改善された。 2002年3月末に特別対策を終了する理由として、総務省の「同和行政史」は3点をあげている。①地区の状況が大きく変化した ②特別対策の継続は同和問題の解決に必ずしも有効とは考えられない ③大規模な人口変動で対象を限定した施策は実務上困難 という3点である。 しかし、国の特別対策法が終了したにもかかわらず、地方自治体では対策事業を縮小しながらも特別対策を続け、鳥取県でも大山町でも継続され今に至っている。本町の行政では今なお、地区活動費の補助、進学奨励資金の給付、固定資産税の減免、地区進出学習会が実施されている。 はたして、今のまま同和地区に限定した特別対策として事業を継続していくことが、同和問題の解決や同和行政の終了につながっていくのか、疑問である。 そこで、次の点について伺う。 (1) 同和問題の現状を町長はどのように認識しているか。 ア. 全国的な現状について イ. 県内の現状について ウ. 町内の現状について (2) 大山町内の同和問題で、現在どのような課題があるか。((1)のウでの答弁も可) (3) 本町行政で地区活動費、進学奨励資金、地区進出学習会などの同和対策事業を今なお実施しなければならない根拠は何か。 (4) 同和地区・地区外という概念のない融合した関係をつくるために、同和対策事業は縮小ないしは完了に向けて見直しに着手すべきと考えるが、どうか。 (5) 大山町で同和問題が解決したと判断し、同和行政を終了するのはどのような状態になったときか。	町長



(注) 的確な答弁がえられるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。
質問の相手は、町長、教育長、農業委員長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
2. 熱中症対策や物価高騰対策を 今年の夏も昨年に増して猛暑が続き、鳥取県は連日のように熱中症警戒アラートを発表した。その中で、熱中症予防のための行動として、「まずは、室内等のエアコン等により涼しい環境にして過ごしてください」と呼びかけている。しかし、エアコンを設置したくてもできない世帯がある。町内の生活保護世帯でエアコン未設置が 77 世帯中 4 世帯あるとのこと。近年、エアコンは生活必需品となっていることを考慮すれば、行政からの支援が必要ではないだろうか。 また、昨今の物価高騰は町民の暮らしを苦しめている。これに対する支援として、本町では「だいせん応援チケット」を全町民へ発行した。さらなる対策として、「住宅リフォーム助成」の実施は時機を得た事業として町民に喜ばれるのではないだろうか。 そこで、次の事について伺う。 (1) 熱中症対策として、生活保護世帯を含む一定の低所得世帯を対象に、エアコンの購入費と設置工事費に補助を来年度に向け検討しないか。 (2) 物価高騰へのさらなる対策として、この時機に「住宅リフォーム助成制度」を再び実施するよう検討しないか。 3. 「大阪・関西万博」への修学旅行は中止を 「大阪・関西万博」が来年の 4 月から 10 月までの期間、大阪 夢洲で開催される予定である。ところが、今いろいろな問題点が指摘されている。建設費の膨張、軟弱地盤、脆弱な交通アクセス、パビリオンの建設遅れ、そして、メタンガスの発生とガス爆発などである。 とりわけ問題なのは、3 月に起こったメタンガスによるガス爆発である。夢洲は産業廃棄物や下水汚泥を埋め立てているため、メタンガスが一日 2 トンも発生し、常時 79 本ものパイプでガス抜きしている。それだけでなく、一酸化炭素やアンモニアも検出され、刺されると命にかかわるヒアリが 250 匹確認されている。 ところが、県内 13 の学校が、本町でも 1 校が万博への修学旅行を検討しているという。学校行事は子どもの命と安全を最も重視しなければならないのに、危険が予想される場所への修学旅行は、はなはだ疑問である。 当該校へは危険性の事実を知らせるべきであるし、万博への修学旅行は中止するよう助言すべきと思うが、どう考えるか。	町長 教育長

(注) 的確な答弁がえられるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。
 質問の相手は、町長、教育長、農業委員長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

令和6年8月30日

大山町議会議長 米本 隆記 様

議席番号1番

大山町議会議員 小谷 英介



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 50 分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
テーマ：大山町の財政はこのままで大丈夫か。 1) 実質単年度収支：収支は悪化していないか。 過去5年間の「実質単年度収支」の推移はどうなっているか。また、令和6年度の見込みについても確認したい。*単年度収支：実質収支から、基金の出入りなど、本来は収支や支出とみなすべきでない項目を除外した「真の実力」を示すもの 2) 地方交付税：想定どおりの配分だったか。 令和6年度の地方交付税交付金（普通交付税）の配分額はどうなっているか。町の今後の財政について「地方交付税次第です」という答弁がこれまでであったが、令和6年度の配分は想定どおりだったのか。 3) 基金総額：町の貯金（基金）はどこまで減らすつもりか。 令和6年度の当初予算は、町の貯金（基金）を5.4億円減らして予算が組まれている。さらに、令和6年2月に作成された財政推計でも、基金は毎年数億円ずつ減少し、今後5年間で約18億円が減る見通しである。このまま基金が減り続けることは、町にとって問題ないのか。 4) 公共施設整備基金：今後の公共施設解体のためのお金は足りるのか。 大山町は、公共施設の管理更新費用を削減するため、今後30年間で公共建築物の延床面積を20%削減する計画である。この計画を実行するためには、建物の解体費用が必要だが、解体にかかる費用は総額でいくらと見積もっているか。現状の公共施設整備基金で足りるのか。 5) ふるさと応援基金：基金がゼロになったら、どう対応するのか。 令和6年度の予算では、57の事業を実施するために「ふるさと応援基金」から3.6億円を取り崩す計画となっている。これは予定積立額の2.7億円を上回る取り崩しであり、このペースでは、いずれふるさと応援基金は枯渇してしまうが、今後どのような対応を検討しているのか。 以上	町長

受附

第 8 号

8.30

大山町議会

令和6年8月30日

大山町議会議長 米本 隆記 様

12番 大山町議会議員 近藤 大介



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 60 分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
1. 学校体育館のエアコン整備について 今年の夏は記録的な猛暑であったが、今後もこのような夏が度々あると予想される。 町内小中学校の体育館には、エアコンがないが、児童生徒が安全に活動できるか心配である。 1) 学校体育館へのエアコン、冷風機の整備について、どのように考えているか。防災(避難所)の観点からも早期に整備すべきではないか。 2) 学校の特別教室や保育園などで、ほかにエアコン整備が求められているところはないか。	町長 教育長
2. 放課後児童クラブの充実について 1) 放課後児童クラブの現状と課題は。 2) 子ども達の安全はもとより、より良い学び、発達を支援するため、必要な専門的スキルを持ったスタッフは十分に配置されているか。 3) 異年齢の遊びの状況はどうか。年齢が異なる子供たちが一緒に遊ぶことで、協力や共感のスキルが向上したり、社会性の発達が促せるなどの利点があると言われるが、そのような機会が増えるような支援が出来ているか。 4) 子ども達のより良い成長のため、放課後児童クラブでの質の高いプログラムや、活動の充実が必要であるが、スタッフの拡充や、研修プログラムの更なる充実についての考えは。 5) 放課後児童クラブと保育園・学校との連携をより円滑(人事交流を含む)にするため、放課後児童クラブの所管を教育委員会事務局に移してはどうか。	町長 教育長



(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

令和6年8月30日

大山町議会議長 米本 隆記 様

議席番号 14 番 大山町議会議員 岡田 聡



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 60分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
1、今こそ地球温暖化対策に傾注を 昨今の異常気象の頻発や気温の上昇など憂慮される状況が頻発している。地球上に生を授かっている我々人類が率先して対策を講じていかなければならないと考えます。 国や自治体がもっと危機感をもって環境問題に取り組み、対策を講じなければならぬし、我々一人一人も強い意識をもって取り組まねばならないと考える。 以下の質問をいたします。 (1) 再生可能エネルギー利用設置の推進と地産地消の取り組み (2) 事業所、個人事業者、町民への啓蒙や啓発 (3) ごみ排出量の削減 (4) 子供のころから重要性の教育活動が必要だが (5) 公共交通を充実し自家用車の使用自粛 2、和牛子牛の生産振興・維持への支援を かつては多くの買い手が訪れ比較的高値で売買されていた鳥取和牛子牛であるが、近年は物価高騰で和牛肉消費が落ち込み、肥育農家の買い控えなどで和子牛の価格の下落が続いている。採算ラインを割り込む状況が続いており、繁殖農家の経営存続が危ぶまれている。 以下の質問をいたします。 (1) 畜産業農家・業者の存続のための支援を考えないか。 (2) 経営アドバイスなどはできないか	町長 教育長 町長



注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

令和6年8月30日

大山町議会議長 米本 隆記 様

議席番号 3番 大山町議会議員

豊 哲也



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間

60分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
1 本町観光業の魅力アップについて 本町の観光において政策提言する。 1.大山寺エリアのヒメボタルに関して近年新聞報道もされ、観光客も増えているが、日南町のような決まり・お願い事などが無く、環境保護の観点からも対応が必要ではないか。またうまく活用することで、環境保護を行いながら観光振興も推進できると思うが、本町の現在の取り組みと今後の方針は。 2.数年前から鳥取県をあげ「星取県」として星景を活用した観光振興が謳われているが、その後の本町の建築物の照明に関して、長野県阿智村のような光害への取り組みができているとは思えない。既存照明の改善、これからの建造物への配慮を検討していかないか。 3.伯耆町では、ひまわり畑など観光のために、栽培を農家に依頼し問合せなど管理している。名峰大山と花畑といった素晴らしいフォトスポットを提供するための環境整備をしないか。 4.国主導で鳥取県が手上げをしている「ふるさとワーキングホリデー」の制度を単町でも行っていないか。	町長



(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
2 牛馬の聖地「大山」ドリームカーフェスタについて 1. 令和5年度一回目のイベントが行われたが、本町が負担金として予算化するのは一年のみであると説明を受けた。令和6年度再度予算化され、さらには増額している、その理由は。 2. この事業の収入元として、クラウドファンディングをおこなっているが、結果はどうであったか。またその結果に対しどのような分析をしているか。	町長

(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

令和6年8月30日

大山町議会議長 米本 隆記 様

議席番号 8番 大山町議会議員 大原 広巳



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 60分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
1 竹口町政2期目の成果と課題について 3町合併して来年で20年となる。竹口町長の2期8年の町政運営もあと半年となった。過去を引きずって未来を見失うことはないと思うが、過去の課題点検なしには、次のステージに進めないのではないか。 3年前の町長の所信表明の5本柱の政策を中心に問う。 ①「町民みんなが暮らしやすいまちづくり」 防災対策、移住定住対策、公共交通対策、ゴミ対策、空家対策などの成果と課題は。 ②「教育・子育て・生涯学習のまちづくり」 少子化対策、英語教育、少人数学級、リカレント教育の成果と課題は。 ③「経済産業が成長するまちづくり」 農林水産業の振興、観光振興、起業化対策の進展や課題は。 ④「健康・長寿・福祉のまちづくり」 認知症対策、高齢者や障がい者対策など地域包括ケアシステムの進展、人権対策の成果と課題は。 ⑤「行財政改革による持続可能なまちづくり」 基金運用、デジタル化の推進などの成果と課題は。 ⑥その他、大山アウトドアライフ構想事業での大山寺や御来屋漁協の整備や淀江IC周辺整備の今後の見通しは。	町長



(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

令和6年8月30日

大山町議会議長 米本 隆記 様

議席番号15番

大山町議会議員

野口俊明



一般質問通告書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 50分)

質問事項と要旨	質問の相手
桜並木は守れるか 1. 報恩峠の桜並木の対策は 2. 植樹の経緯は	町長 教育長



(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

令和6年8月30日

大山町議会議長 米本 隆記 様

議席番号 2 番 大山町議会議員 西本 憲人



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 60 分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
1.西坪展望公園トイレ整備事業について 令和5年度の事業として、西坪展望公園のトイレの整備を行ったがいくつか疑問に思うことがあるので質問いたします。 1、 西坪展望公園トイレをつくる目的はなんだったのですか。 2、 議会で説明受けていた場所と違う場所にトイレができたようですが、なぜですか。 3、 トイレを作るための予算は最終的にはいくらかったのですか。	町長
2.電動マウンテンバイクの利用状況は 町が購入した電動マウンテンバイクはその後どのように利用されているのか。 あまり活用できていないように感じているがどうなっているのか質問する。 1、 当時購入した目的はなんだったのか。 2、 現在はどこでどのように保管されているのか。 3、 現在の利用の状況を教えてください。	町長



(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
3.住民の幸福度について 我々議会や行政は住民のために、住民が今よりもより良くなることを目的として予算を使い、幸福になるために各種事業をおこなっていると思っています。 その中で、今の町政運営では住民の幸福度は向上したのでしょうか。 町長、教育長の主観と客観的な観点両方を教えていただきたく質問をいたします。 今、大山町の住民が幸せになる施策を行えていますか。できているならその理由を教えてください。足りないと思うなら、なぜできていないか教えてください。（納得したいのでできるだけ具体的に教えてください）	町長 教育長

（注）的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。